君津地域水稲情報
「あぜみち第５報」

令和５年 12 月 19 日　君津農業事務所 改良普及課
電 話　0438-23-0299　ＦＡＸ　0438-23-6698
http://www.pref.chiba.lg.jp/ap-kimitsu/

★成熟期の高温少雨により圃場による品質差が激しい
★特定外来生物「ナガエツルノゲイトウ」に注意！

１　今年度の君津地域の水稲の生育を振り返って

（１）育苗期

おおむね、平年並みの気温で推移するとともに、最低気温も高く推移したことから、苗の生育は順調で、低温障害はほぼありませんでした。５ 月上旬以降に移植した苗では、最高気温が高めに推移したことから、徒長苗となり、やや活着不良となるケースも見られました。

（２）生育初期（移植期から最高分げつ期）

梅雨入り前後の５月中旬から６月上旬にかけては、日照時間が少なく、分げつの発生が遅れ気味となりましたが、その後は日照時間が多くなったため、分げつの発生は順調に推移しました。

（３）出穂期

「ふさおとめ」は、７月 12 日、「コシヒカリ」は、７月１９日、「粒すけ」は７月２１日に出穂し、ほぼ平年並みとなりました。

（４）登熟期

７月 22 日に梅雨明けし、その後は記録的な高温少雨となりました。水持ちのよい水田では、登熟が順調に進みましたが、水の確保が難しい水田では、高温による乳白米の発生や、水不足による株枯れが発生した水田も見られました。

２　今年度の君津地域の作況概況について

関東農政局発表の本県の作況指数（10月１３日現在）は、やや良の「103」であり、君津地域を含む南房総地域は良の「105」となりました。

品質について、登熟期間が高温少雨になったことから、乳白米が目立ちました。

３　来年度に向けて

（１）特定外来生物「ナガエツルノゲイトウ」の侵入に注意しましょう

当地域でも、ヒユ科の南米原産である特定不外来生物「ナガエツルノゲイトウ」が水田内で発見されている地区があります。本草は、用水路等を介して侵入し、再生力が強く、数ミリの切片からでも再生可能で、水田内に定着すると、植物体が水稲に絡みついて倒伏させる被害や、コンバインを詰まらせるなど収穫作業に支障を与える厄介な雑草です。

３月から初霜日にかけて生育しますので、用水路、給水口や畦畔などを見回り、早期発見、早期防除に努めましょう。

図１

図２

図１　水路内に発生した「ナガエツルノゲイトウ」の群落

図２　「ナガエツルノゲイトウ」の草姿

【具体的な防除方法】

◎ 水田に侵入させない

・水口に種子の網袋（3mm 程度の網目）等を張って、切片の侵入を防ぐ

・農機等に付着して発生を拡大させるので、発生がない水田から作業を行い、作業後は機械を洗浄する。

◎ 万一畦畔や水田で発見した場合

・畦畔　①～③のいずれかの除草剤を散布する

	薬剤名	10a あたりの使用量
①	ラウンドアップマックスロード	薬量 200ml～1,000ml、散布水量：少量散布 5～25L、通常散布 50L～100L
②	ザクサ液剤	薬量 500ml～1,000ml、散布水量 100L～150L
③	ロイヤント乳剤	薬量 200ml、散布水量 25L～100L

・水田内　①～②のいずれかの体系で除草剤を散布する

	初期剤（移植時又は植代時）	一発剤（移植時から移植７日後）	中後期剤
①	ピラクロン（フロアブル又は 1 キロ粒剤）		ウィードコア 1kg 粒剤（移植 15～30 日後、ナガエツルノゲイトウ草丈 15 ㎝まで）
②		バッチリ LX（フロアブル又は 1 キロ粒剤）	ウィードコア 1kg 粒剤（移植 15～30 日後、ナガエツルノゲイトウ草丈 15 ㎝まで）又はロイヤント乳剤（中干し期間中、ナガエツルノゲイトウ草丈 60 ㎝まで）

※ ロイヤント乳剤やウィードコア 1kg 粒剤は、本年発生が多かったクサネムにも効果が高いです。

（2）飼料用米専用品種に取り組みましょう

主食用米は米価の影響を受けてしまいますが、飼料用米は国、県及び市からの助成を受けて、比較的安定した収入を得ることができます。米価に左右されない安定した経営に向けて、飼料用米専用品種の導入を検討してみてはいかがでしょうか。

主食用米よりも早く収穫したい場合は、「アキヒカリ」がおすすめです。

（3）健苗育成のため温度管理

苗半作という言葉があるように、健苗育成が水稲栽培の第一歩です。水稲の育苗では、最適温度が育苗ステージによって変わります。図２を参考に適切な温度管理を実施しましょう。

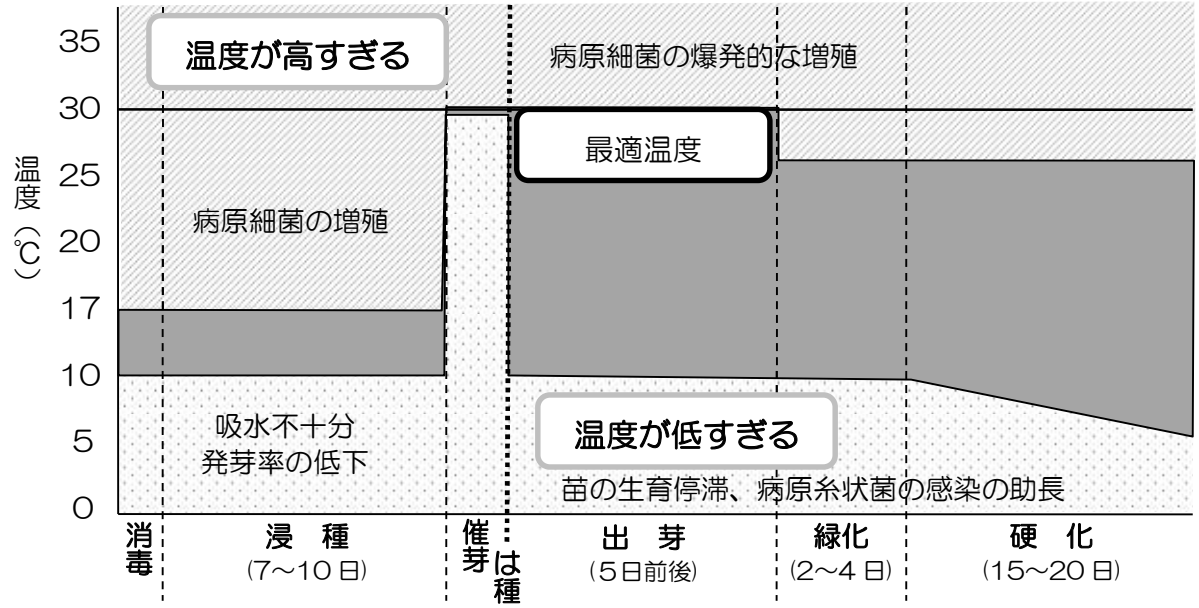

図２　育苗時の温度管理

４　種子保証票の保管について

種子保証票は、種子産地や種子生産者を確認できる、重要なものです。種子を原因とする事故が起きた時には保証票が必要になりますので、捨てずに収穫時まで大切に保管しましょう。

５　三島ダムからの用水を使用している皆様へ

三島ダム洪水吐改修工事を行っております。改修工事が完了するまで、引続きダム水位を下げて運用されますので、用水は大切に使用してください。冬の間に、畦畔等の漏水箇所を補修しておきましょう。

令和５年度の稲作では大変お世話になりました。来年以降も引き続きよろしくお願いします。
御不明な点等ありましたら、お気軽にお問合せください。

通信費削減のため、「あぜみち」の配信を、郵便から電子メールまたはFAXへの切替えを進めています。切替えを希望の方は、下記まで御連絡ください。
連絡先　小川（おがわ）　kimitu-f@mz.pref.chiba.lg.jp　0438-23-0299（電話）

※写真等が見づらい方は、県庁 HP でも見ることができますので、お持ちのスマートフォン等で、以下の QR コードを読み込みください（通信料については、御負担願います）。